

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費
大	事業	501	地域振興事務事業	中	事業	01	地域振興事務事業 (三国)		
小	事業								他 事業

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管 部局	三国支所
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		地域振興課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	補助金事業 (事業補助)	
根拠法令	無				
根拠例規	有		まちづくり推進課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コ ス ト	事業費	800	2,750	5,496	△ 1,950
	人件費	1,070	7,497	7,720	△ 6,428
	総事業費	1,870	10,247	13,216	△ 8,378
人 員	正職員	0.16 人	1.07 人	1.15 人	△ 0.91 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	1.07 人	1.15 人	△ 0.91 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	1,500	0
	一般財源	1,870	10,247	11,716	△ 8,378

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】</p> <p>三国地区に係ることや支所が所掌する事務等について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働によるまちづくりを推進します。</p>	
<p>【事業の概要】</p> <p>○補助金</p> <p>・スポーツ大会補助金</p>	800 千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指 標	事業参加者増加率	%	目標	100	50	120	120	120
			実績		60	70	70	70
		達成率(%)	0.0	120.0	58.3	58.3	58.3	
指標の説明		事業参加者の達成率 (H22=100%)						
指 標	三国節保存伝承事業参加者	人	目標	0	0	4,000	4,000	4,000
			実績		0	4,000	4,000	3,900
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	97.5	
指標の説明		三国節の保存と伝承活動にかかわった参加者。H30は、廃止。						
指 標	三国町民体育祭参加者	人	目標	4,000	4,000	2,000	4,000	4,000
			実績		0	1,500	3,000	3,000
		達成率(%)	0.0	0.0	75.0	75.0	75.0	
指標の説明		三国町民体育祭の参加者。H30は、中止。						
指 標	三国町地区対抗小学生スポーツ大会参加者	人	目標	700	700	700	700	700
			実績		766	714	500	685
		達成率(%)	0.0	109.4	102.0	71.4	97.9	
指標の説明		三国町内の各地区が対抗して行う小学生スポーツ大会の参加者。						
指標に基づく評価		三国節保存伝承事業については、H30より補助事業が終了となりました。三国町民体育祭については、福井国体の開催により大会が中止となりました。伝統のある三国町地区対抗小学生スポーツ大会については、多くの参加者の中、盛大に開催することができました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
これまでの見直しや改善等の実績	小学生スポーツ大会は、野球・バレーボール・卓球の各大会が開催され、参加人数は目標値を上回りました。児童の地域間交流と体力・運動能力の向上を図るため、今後も補助事業を継続していく必要があると思われます。なお、三国町民体育祭については、福井国体の開催により中止となりました。		
	三国節保存伝承事業費に対する補助について、三国支所管区域内13地区地域団体に対し、三国節保存伝承事業に係る経費を補助していました。H28は、1地区あたり100,000円、H29は、1地区あたり50,000円を上限として補助しており、H30より補助事業は終了しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	スポーツ大会補助事業	継続	伝統がある地区対抗小学生スポーツ大会を開催することにより、児童の地域間交流をはじめ、体力と運動能力の向上と児童の健全な心身の育成を図ります。
	支所所管区域体育祭等事業費補助事業	継続	三国町民体育祭について、R1よりスポーツレクリエーション大会として初めての開催となるが、今後も市民相互の親睦や健康増進を目的として、体育祭事業を支援し地域コミュニティ活動の推進を図っていきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由
目標年度		
中長期的な方向性	継続	
目標年度		

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	5	都市基盤整備	施策	5-3	安全で安心な地域づくりの推進
	施策項目					
実施事業名 (小事業)	スポーツ大会補助事業 支所所管区域体育祭等事業費補助事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>スポーツ大会補助事業 H30は、三国節保存伝承事業に対する補助事業の廃止、三国町民体育祭は福井国体開催により中止になる中、唯一、三国町地区対抗小学生スポーツ大会が開催されました。今後も少子化問題が進む中、小学生がスポーツに親しむことにより、体力と運動能力の向上、さらに児童の健全な心身を育成するため、継続して開催していくべきと思われます。</p> <p>支所所管区域体育祭等事業費補助事業 三国町民体育祭は、毎年10月の第1日曜日に盛大に開催されていました。しかし、近年は、少子高齢化の影響のため参加出来ない地区もあり、大会に影響が出てきています。さらに、マンネリ化もあり盛り上がり欠けている気がします。R1は、スポーツレクリエーションとして開催予定ではありますが、今後も大会内容の大幅な見直しをする時期にきているのではないかと考えられます。</p>					

平成30年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害者(者)福祉費
大	事業	101	障害者福祉施設管理運営事業	中	事業	01	希望園管理運営事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	三国支所
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		地域振興課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	障害者基本法、障害者自立支援法			
根拠例規	有	坂井市希望園条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 一般企業に雇用されることが困難な障がい者に勤労による社会復帰の基礎づくりに資することで、地域で自立した生活を送れるように支援し、障がい者の福祉増進を図ります。

【事業の概要】
 指定管理者 社会福祉法人坂井市社会福祉協議会
 指定期間 平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
 事業内容等
 ・坂井市三国希望園の運営業務
 ・施設維持管理業務
 ・地域活動支援センターの運営業務
 ・就労継続支援B型の運営業務
 ・生活介護事業の運営業務
 ・放課後等デイサービス事業の運営業務

○保険料
 ・火災保険料 19 千円

○委託料
 ・希望園指定管理者委託料 3,558 千円

○使用料及び賃借料
 ・土地借上料(67.99㎡) 27 千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	三国希望園管理運営
--------------	-----------

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	30・29年度比
コスト	事業費	3,604	4,966	5,270	△ 1,362
	人件費	1,337	1,612	1,410	△ 275
	総事業費	4,941	6,578	6,680	△ 1,637
人員	正職員	0.20 人	0.23 人	0.21 人	△ 0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.23 人	0.21 人	△ 0.03 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,941	6,578	6,680	△ 1,637

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	利用者数	人	目標	144	503	732	729	726
			実績		121	483	842	972
			達成率(%)	0.0	24.1	66.0	115.5	133.9
指標の説明		地域活動支援センター利用者数						
指標	利用者延人数	人	目標	6,686	7,134	5,239	5,299	5,004
			実績		5,535	4,469	5,126	5,773
			達成率(%)	0.0	77.6	85.3	96.7	115.4
指標の説明		就労継続支援B型事業及び地域活動支援センター利用者の延人数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	移転を機に、国庫対象の事業にサービスを移換したために減少となりました。 延人数については、体調不良や精神不安定による長期入院の利用者の増加で管理目標が達成できませんでした。 新規事業で定員の5割を確保できたことは評価できます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	地域における障がい者の自立及び社会参加を支援するための拠点施設として運営し、かつ、地域住民が気軽に立ち寄り総合に交流を図ることができる施設であることの周知を図っていく必要があります。		
これまでの見直しや改善等の実績	施設の耐震診断の調査結果、建物の老朽化と耐震性不足により、旧三国西幼稚園を改修し、活動機能を移転して事業を運営しました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性		※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください	
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	希望園管理運営事業	継続	指定管理施設として、施設の維持管理と地域における障がい者の交流、創造的活動、生産活動等のサービスを適切に遂行しています。また、保護者ととも考え協力し合いながら事業を進めています。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性	継続	方向性の理由	総合戦略の事業活動拠点として、障害者の自立と社会参加のきっかけとするため、住民が気楽に立ち寄り総合的に交流を図る場としていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	4	経済・観光の活性化	施策	4-5	雇用の確保、起業の促進
	施策項目	(6)様々な背景を持った人々の雇用・就業の促進				
実施事業名 (小事業)	希望園管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>事業機能の移転後は、子供から大人まで切れ目のない支援を可能とする事業を実施していきます。</p> <p>障がい者の社会参加、経済的な自立を促進するために、自主事業として、自主製品の開発、販売の強化が必要であります。そのためには、地域住民との交流を図りながら、ボランティアなど人的な支援、地域の高齢者等の経験、知恵、工夫など地域の力が得られるような施設運営が必要です。</p> <p>同地域にはハローワークがあり、また企業団地が近いという地区特性を活かして、障がい者の就労支援に向けた仕組みづくりなど新たな就労機会の創出を図る場としての活用を検討が必要です。</p>					